

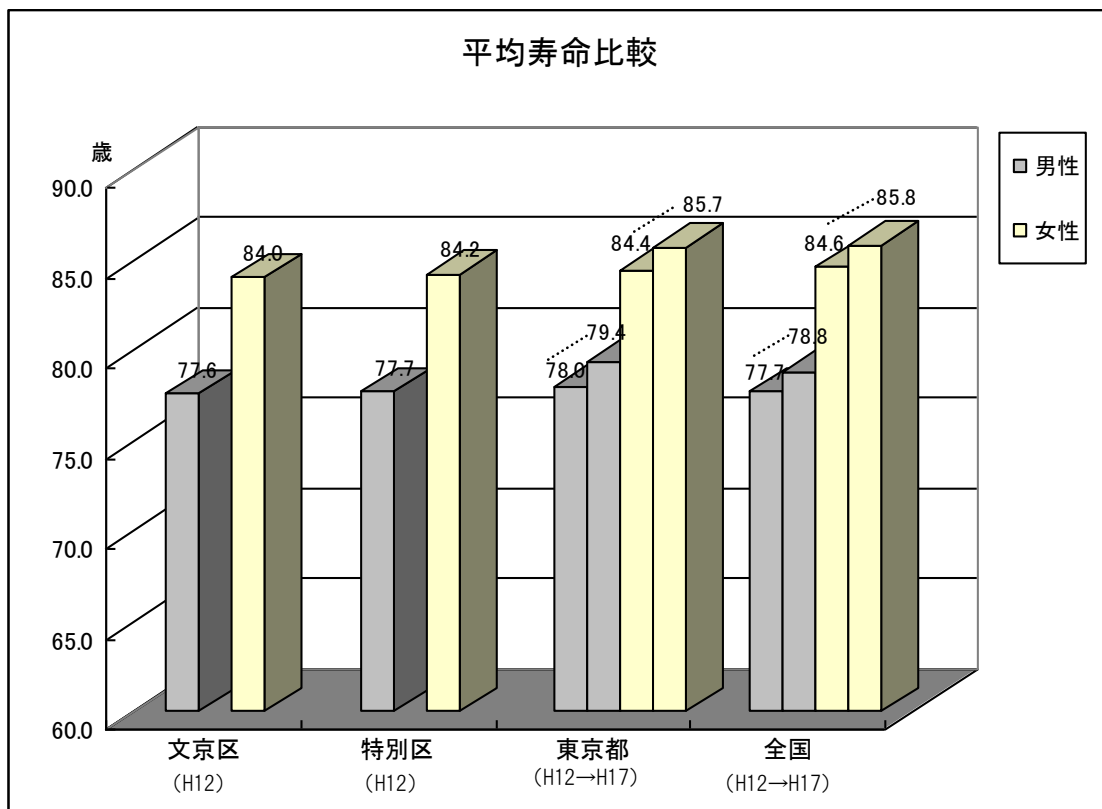
## 第2部 健康に関する文京区民の現状

## I 平均寿命、人口、出生・死亡の状況

## 1 平均寿命

平成17年のわが国の平均寿命は、男性が78.79歳、女性が85.75歳で、男女とも世界のトップクラスにあります。前回調査時の平成12年では、男性が77.71歳、女性は84.62歳で、この4年で、男性は1.08歳、女性は1.13歳平均寿命が伸びたこととなります。

文京区民については、「平成12年市区町村別生命表」のデータで、男性は77.6歳、女性は84.0歳です。その後、平成13年から平成17年までの文京区・特別区の平均寿命はまだ公表されていないため、前回と同様となっており、文京区は、男女いずれも特別区・東京都・全国と比べて、ほぼ同じか、わずかながら低い状況となっています。

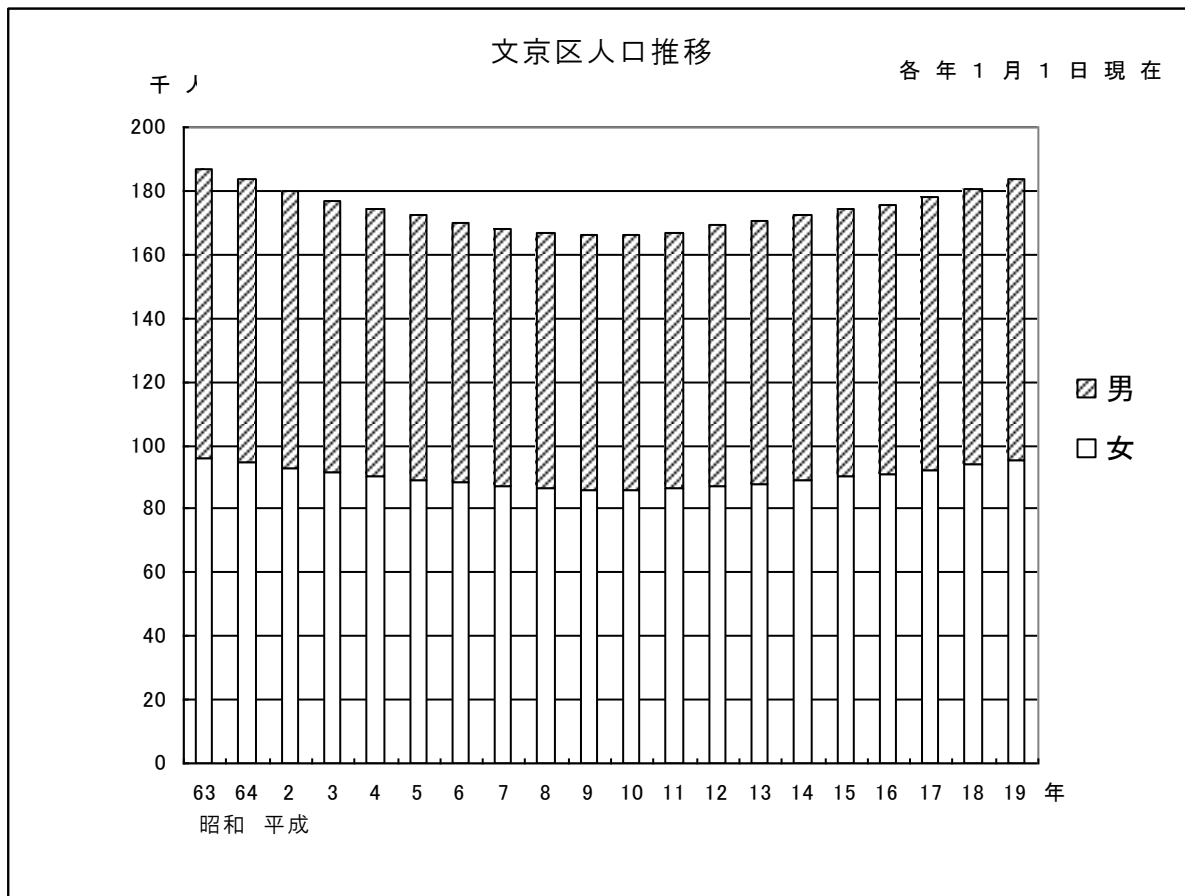


市区町村別生命表（厚生労働省）

2 人口

(1) 人口の推移

文京区の人口の推移は下のグラフのとおりです（住民基本台帳による）。これを見ると、年々下降傾向にあった人口が、平成10年を境として、その後わずかに上昇傾向にあることがわかります。なお、平成19年1月1日現在の人口は、男性88,150人、女性95,341人、合計183,491人であり平成18年から18万人を超える状況まで人口が回復しています。



住民基本台帳

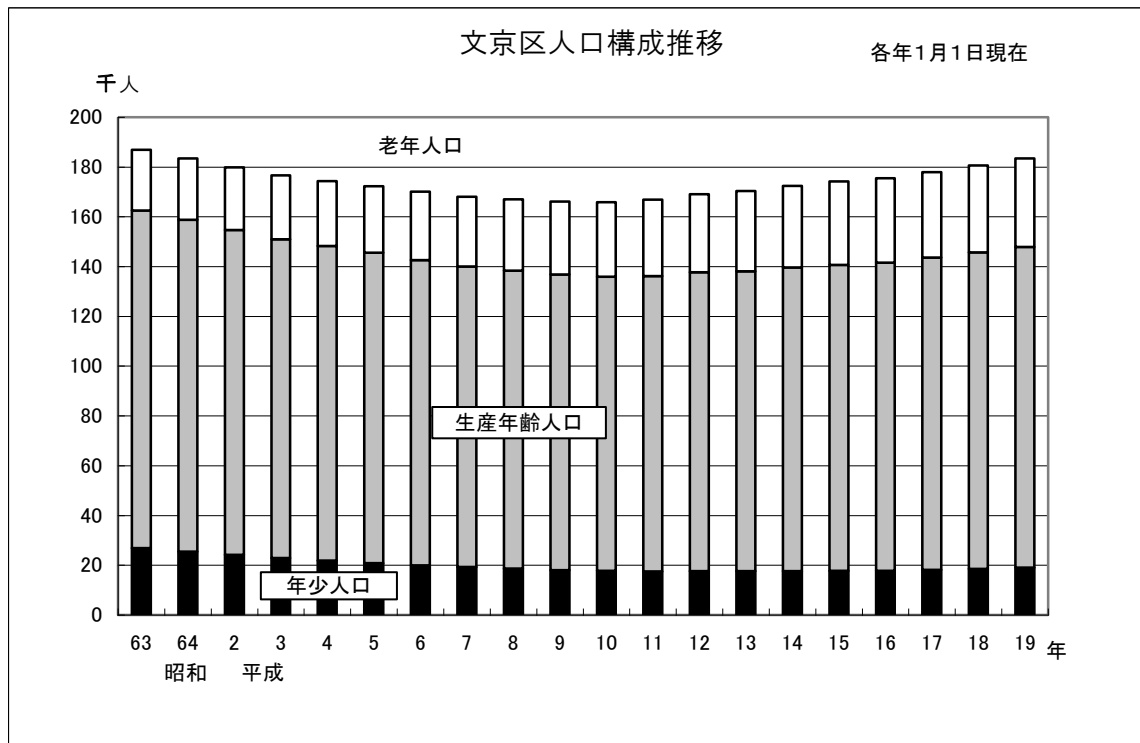
(2) 人口構成の推移

文京区の20年間の人口構成の推移は以下のとおりです。

老年人口比率（総人口に占める65歳以上の人口の割合）は、平成19年1月1日現在で19.4%です。これは、平成15年の19.3%と比べて0.1%上昇しています。

一方、生産年齢別人口（総人口に占める15歳以上65歳未満の人口の割合）は平成10年の72.6%に比べ平成19年は70.2%と2.4%減少しましたが、全国平均の66.1%を4.1%上回り、働き住みやすい都心地域としての特徴が現れています。

一方、年少人口比率（総人口に占める15歳未満の人口の割合）は、平成19年1月1日で10.3%です。平成15年と比べて2.3%減少し、少子高齢化が進んでいることがわかります。



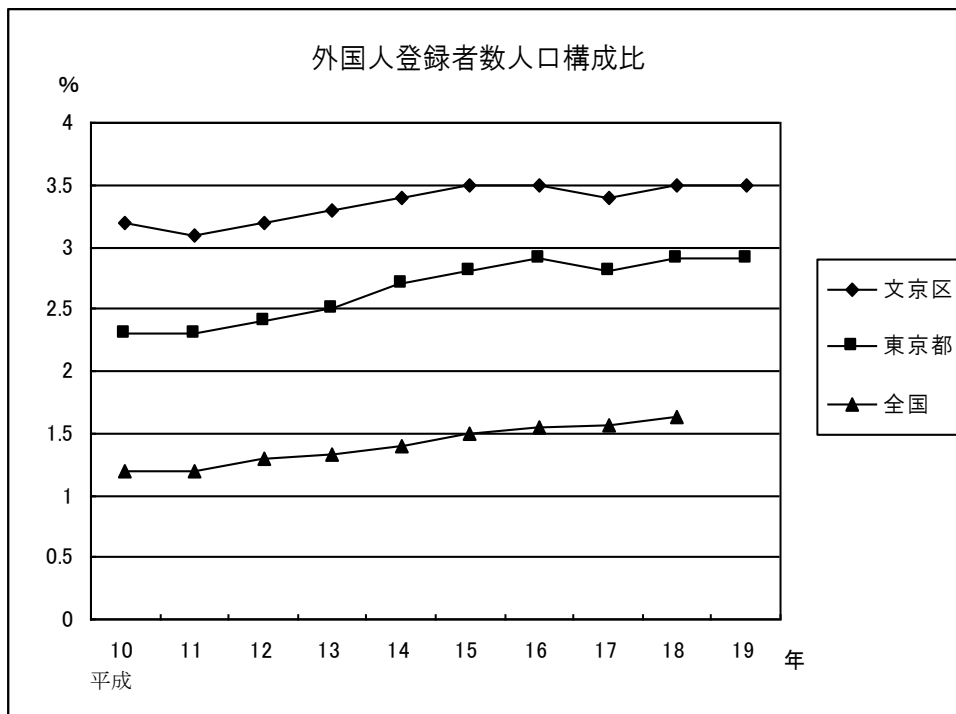
住民基本台帳

(3) 外国人登録人口の推移

外国人登録人口の推移を新たに加えました。東京都全体では平成10年の267,110人から平成19年371,375人に増加し数で104,265人、率で39%増加しています。

文京区は平成10年の5,326人から平成19年6,670人に増加し、数で1,344人、率で25.2%増加しました。

外国で不慣れな生活を送る外国人への健康安全への対応を検討しなければならない状況にあります。

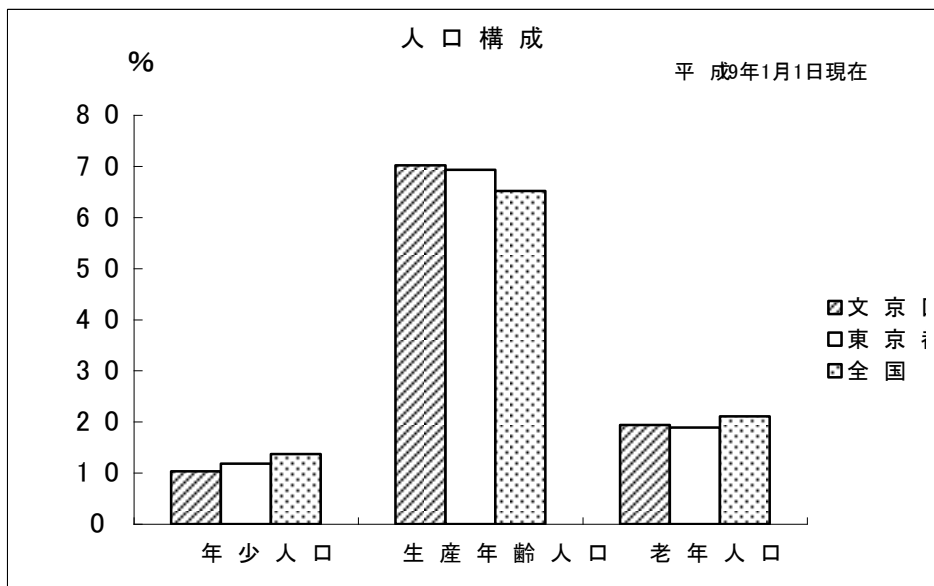


法務省入国管理局統計  
東京都人口の動き  
文京区住民基本台帳

(4) 年少、生産年齢、老年人口構成の国・都・区の比較

年少人口、生産年齢人口、老年人口を全国及び東京都と比較したグラフは下記のとおりです。年少人口比率は都や国に比べ低くなっていますが、生産年齢人口が高くなっています。一方、老年人口は都より0.6%高く、国より1.6%低くなっており、少子高齢化傾向が続いています。

文京区の特徴として、交通機関が発達し、住みよい住環境にあることから生産年齢人口の割合が高くなっています。



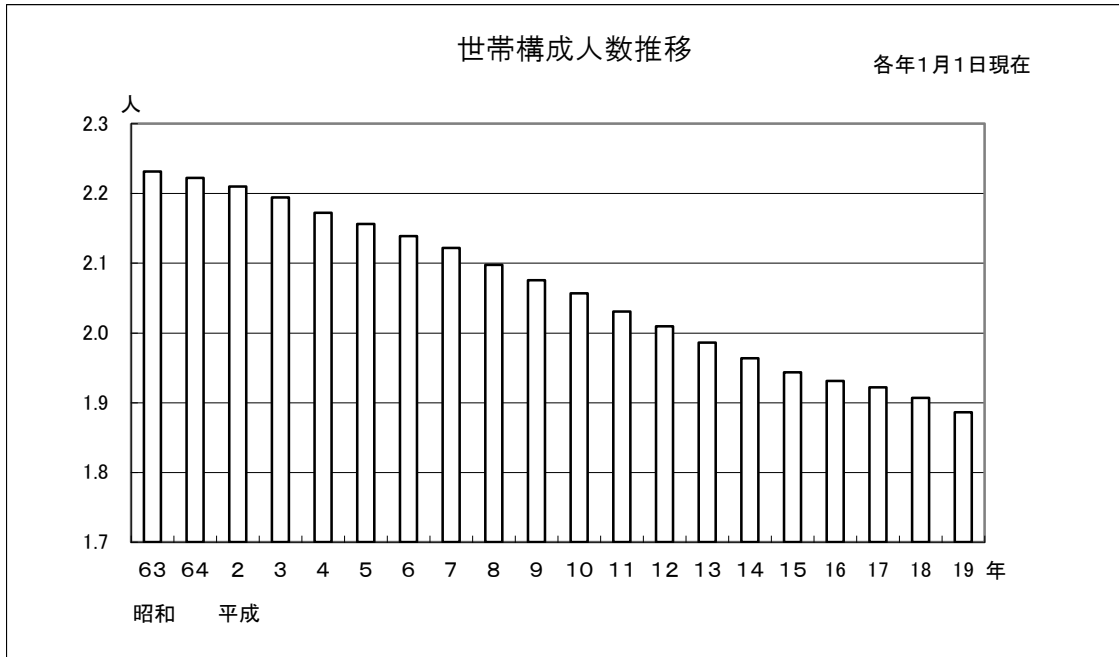
文京区：住民基本台帳

東京都：住民台帳による東京都の世帯と人口（総務局統計部）

全国：男女年齢階級別全国推計人口（総務省）

(5) 世帯構成人数の推移

文京区における1世帯あたりの構成人数過去20年間の推移は、下のグラフのとおりです。毎年下降し、平成13年には2人を割りました。平成19年1月1日現在では1.89人で、昭和63年の2.23人と比べたとき、0.34人下回っています。



住民基本台帳

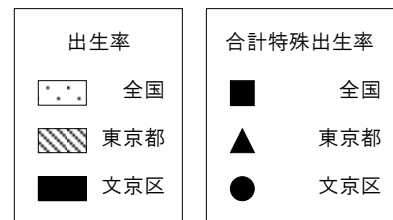
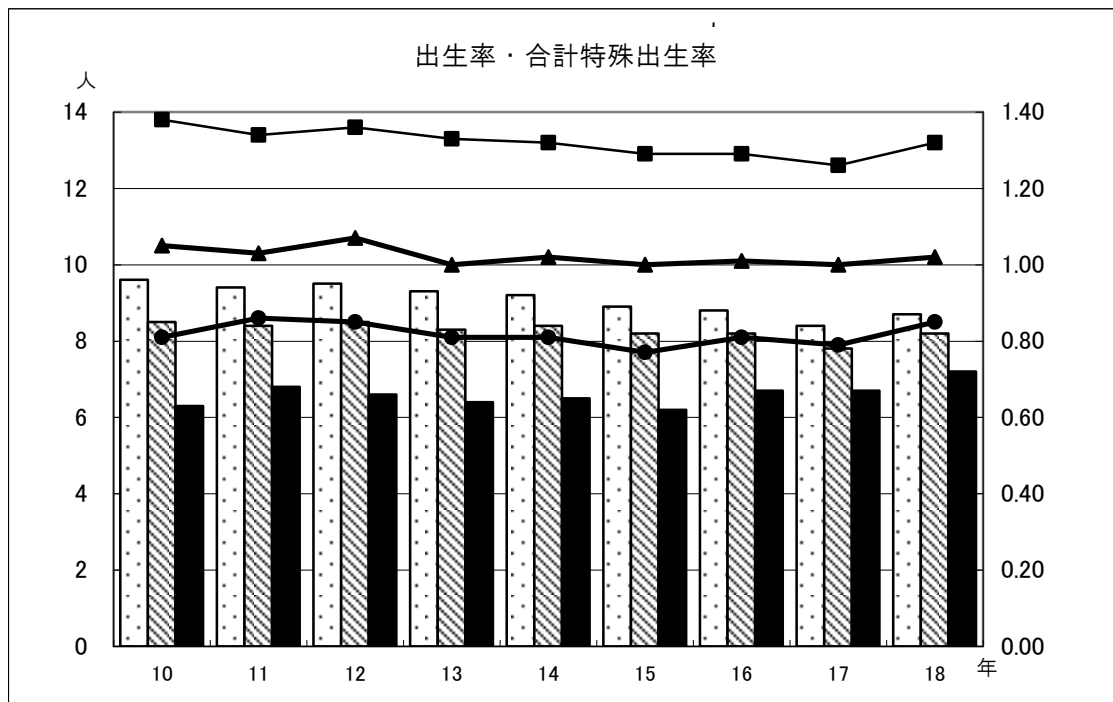
3 出生

平成18年の文京区内の出生数は、1,387人でした。

これを、出生率（人口1,000人あたりの出生数）で見ると、7.2人です。

全国、東京都と比較した出生率の推移は下のグラフのとおりで、文京区は全国、東京都と比べて、常に低い出生率であることがわかります。

また、※合計特殊出生率についても下のグラフに示しました。文京区の合計特殊出生率は平成18年0.85であり、国や東京都を下回っています。



※合計特殊出生率：15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数を表わします。



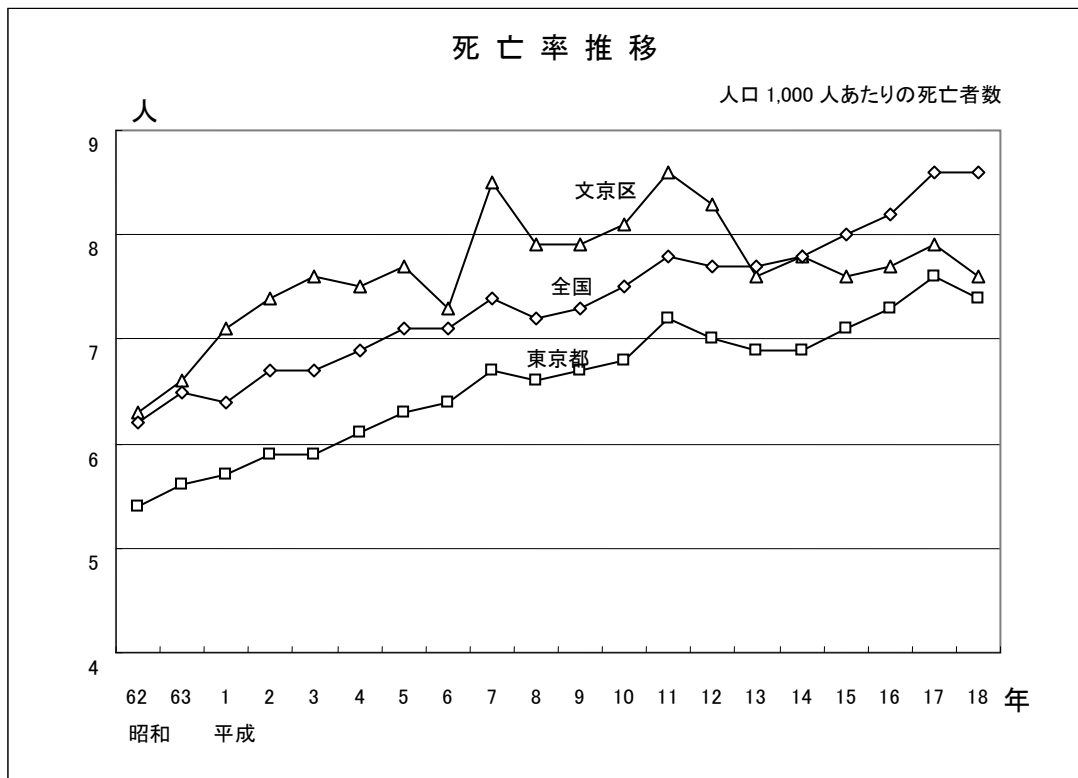
4 死亡

(1) 粗死亡率の推移

平成18年一年間の文京区の死亡者は1,454人でした。

これを死亡率（人口1,000人あたりの死亡者数）で見ると7.6人になります。東京都は7.6人、全国で8.6人でした。

全国、東京都と比較した過去20年間の推移は下のグラフのとおりです。高齢化に伴い、全体的に粗死亡率は年々上昇しつづけています。また、文京区は昭和60年以降、全国、東京都と比べて、常に高い死亡率であることがわかります。



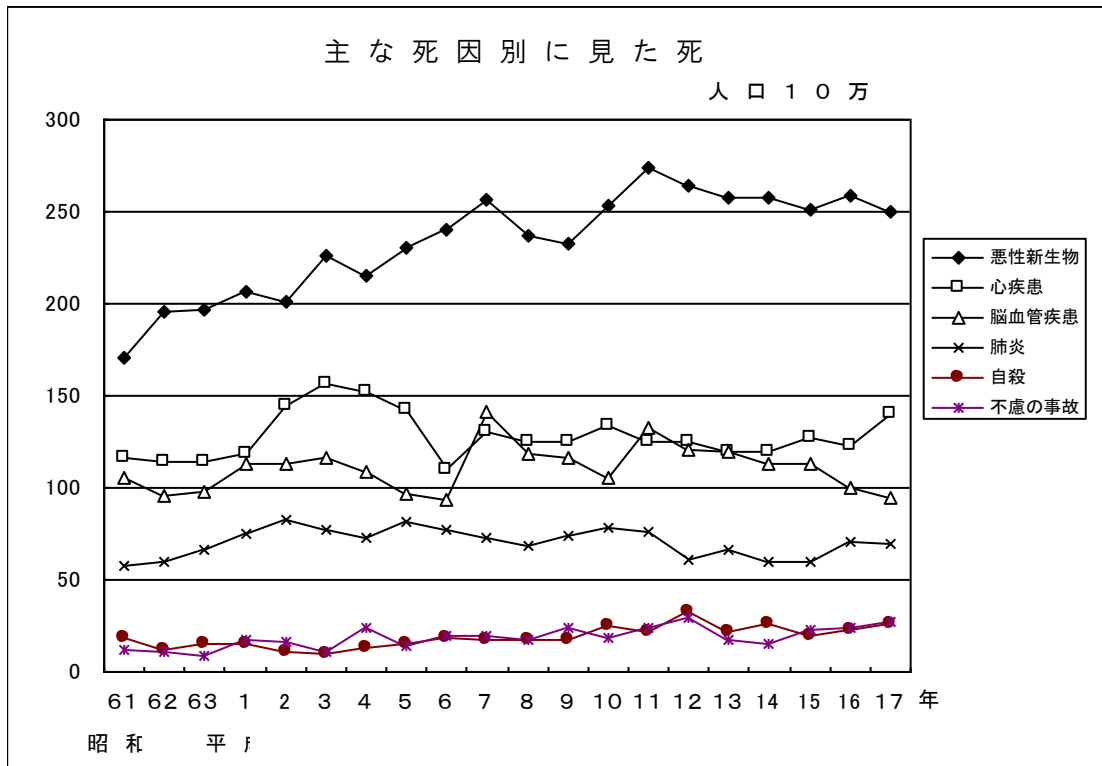
人口動態調査

(2) 死亡原因の推移

文京区における主な死亡原因別に見た死亡率の推移は下のグラフのとおりです。悪性新生物、心疾患、脳血管疾患については、常に死亡原因の上位を占めています。

これらの中で心疾患、脳血管疾患は年によって高低はありますが、20年前と比較してほぼ横ばいであるのに対し、悪性新生物の割合は、徐々に増加傾向となっています。

死亡原因の推移に自殺と不慮の事故を加えました。



人口動態調査

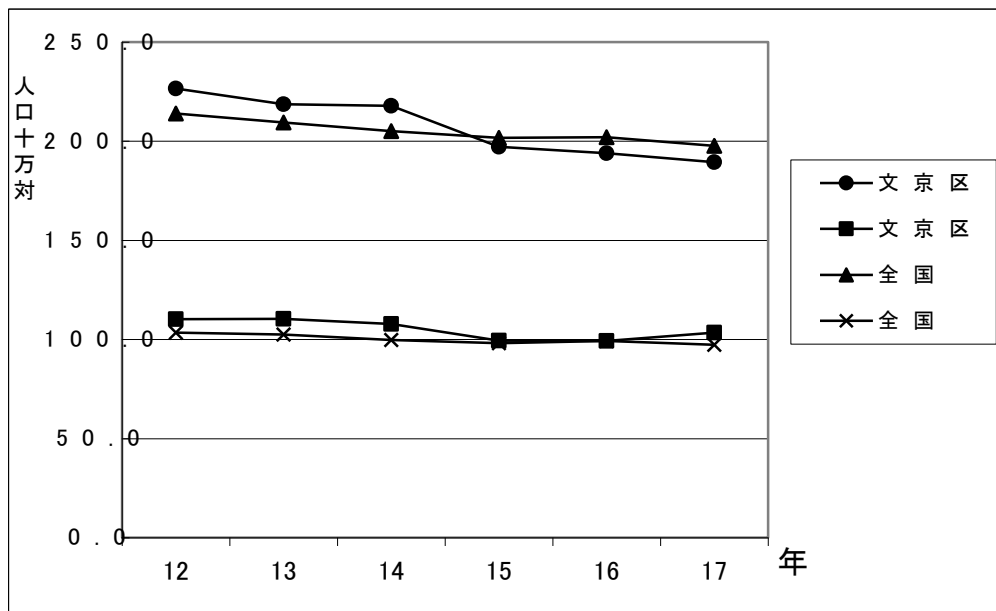
(3) 主な死因別、<sup>※</sup>年齢調整死亡率の推移

死亡数（死亡率）は多くの場合、年齢が高くなるほど値が高くなることから、高齢化の影響（年齢構成の違い）を除いて見る必要があります。このために、主な死因別に年齢調整死亡率（人口10万対）を算出し、全国と比較しました。

## ア 悪性新生物

悪性新生物（全がん）の年齢調整死亡率は、男性では、全国、文京区とも減少傾向にあり、平成15年以後、文京区は全国に比べて低くなっています。女性では、全国、文京区とも平成13年以後、概ね横ばいですが、文京区は全国に比べてやや高くなっています。

(図) 年齢調整死亡率（悪性新生物）の推移  
—平成12年～平成17年—



## ※年齢調整死亡率

人口構成の異なる地域間の比較や年次推移を観察するために用いる指標で、昭和60年のモデル人口を用いて、年齢構成の違いを基準人口に合わせて比較したものです。

なお、文京区の死亡数は年によって変化が大きいため当該年を含めた前後3年間の死亡数で死亡率を求めています。

イ 部位別悪性新生物の推移

悪性新生物の主な部位について、男女別に文京区、全国の年齢調整死亡率をみると部位別に差異が見られます。

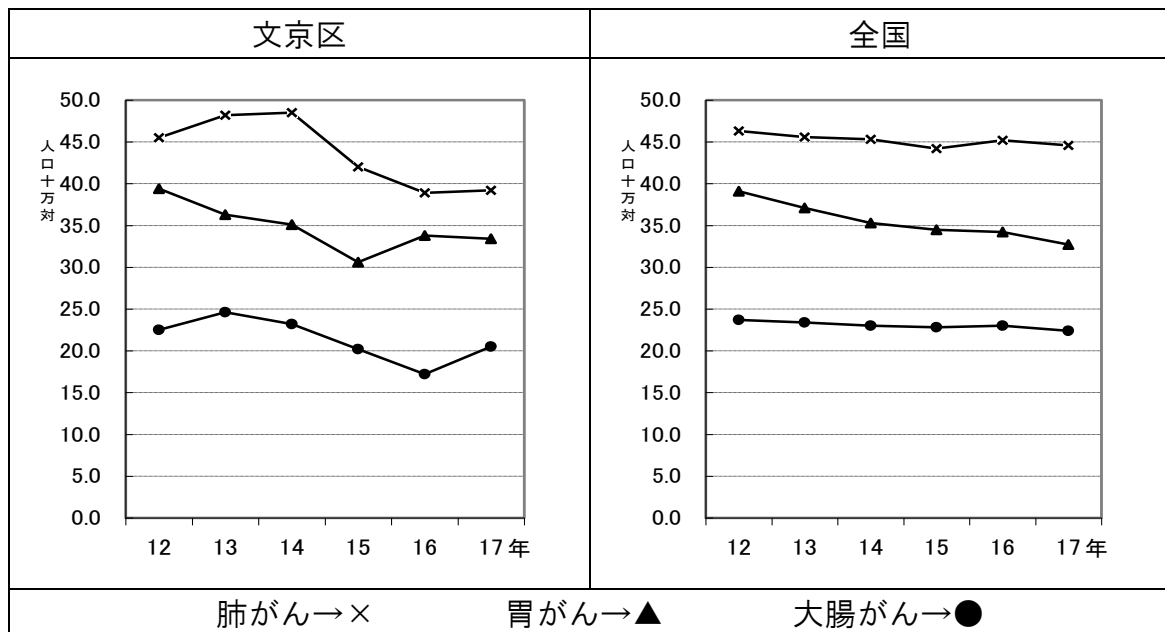
(7) 男性

男性のがんによる年齢調整死亡率を部位別にみると、文京区では肺がん、胃がん、大腸がんの順で、全国と同様の傾向にあります。

- ① 肺がんでは、全国がほぼ横ばいであるのに対し、文京区では、平成14年までは増加傾向にあったものがその後減少に転じています。
- ② 胃がんでは、文京区は全国より低い傾向にあり、全国、文京区とも概ね減少傾向にあります。
- ③ 大腸がんでは、全国では減少傾向にあるのに対し、文京区では、平成17年には増加に転じています。

(図) 部位別、悪性新生物の年齢調整死亡率の推移 (男性)

—平成12年～平成17年—



※ 大腸がんは結腸と直腸 S 字状結腸移行部及び直腸の悪性新生物

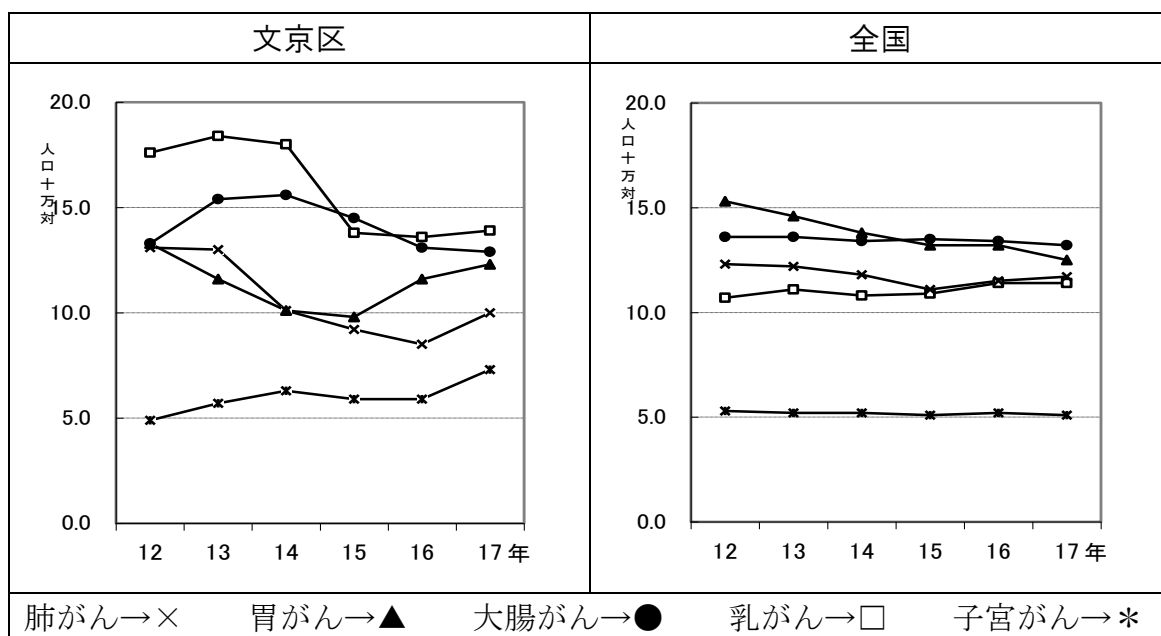
(1) 女性

女性のがんによる年齢調整死亡率を部位別にみると、平成17年では、文京区は乳がん、大腸がん、胃がん、肺がん、子宮がんの順であるのに対し、全国は、大腸がん、胃がん、肺がん、乳がん、子宮がんの順となっており、異なる傾向にあります。

- ① 乳がんでは、文京区は全国よりも高く、全国ではほぼ横ばいであるのに対し、文京区では平成15年に大きく減少し、その後やや増加傾向にあります。
- ② 大腸がんでは、平成16年度以後文京区は全国より低く、全国では概ね横ばいであるのに対し、文京区では平成14年以後減少傾向にあります。
- ③ 肺がんでは、平成14年以後、文京区は全国より低く、減少傾向にありましたが、全国では平成16年以後、文京区では平成17年に増加に転じています。
- ④ 胃がんでは、文京区は全国よりも低く、全国では減少傾向にあるのに対し、文京区では平成16年以後増加傾向となっています。
- ⑤ 子宮がんでは、文京区は全国よりやや高く、全国・文京区ともにほぼ横ばいで推移していましたが、文京区では、平成17年に増加しています。

(図) 部位別、悪性新生物の年齢調整死亡率の推移(女性)

—平成12年～平成17年—



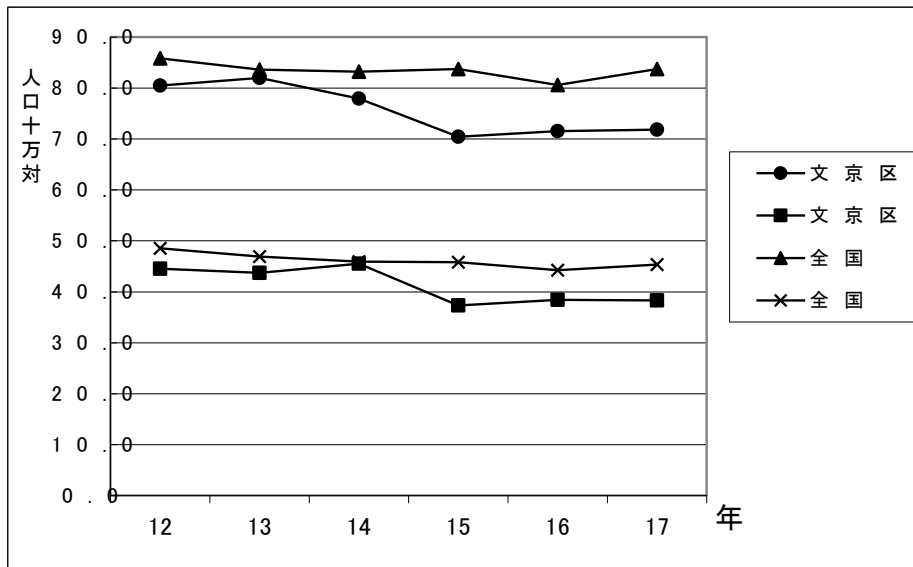
肺がん→×    胃がん→▲    大腸がん→●    乳がん→□    子宮がん→\*

※ 大腸がんは結腸と直腸 S 字状結腸移行部及び直腸の悪性新生物

ウ 心疾患

心疾患の年齢調整死亡率は、男女とも文京区は全国より低い状況で推移していますが、全国ではほぼ横ばいであるのに対し、文京区は平成15年以後やや増加傾向にあります。

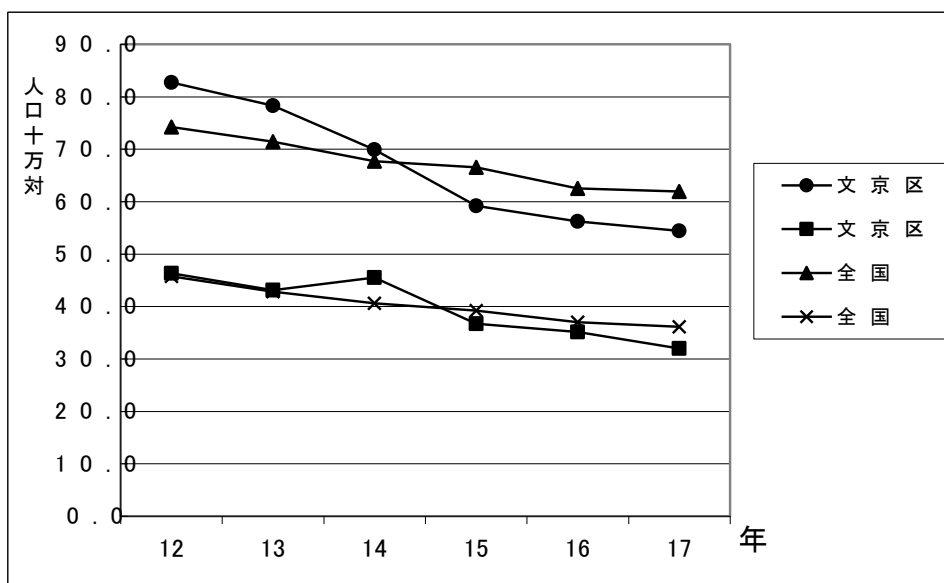
(図) 年齢調整死亡率(心疾患)の推移  
—平成12年～平成17年—



エ 脳血管疾患

脳血管疾患の年齢調整死亡率は、男女とも、全国、文京区ともに減少傾向にあり、平成15年以後は、文京区は全国より低くなっています。

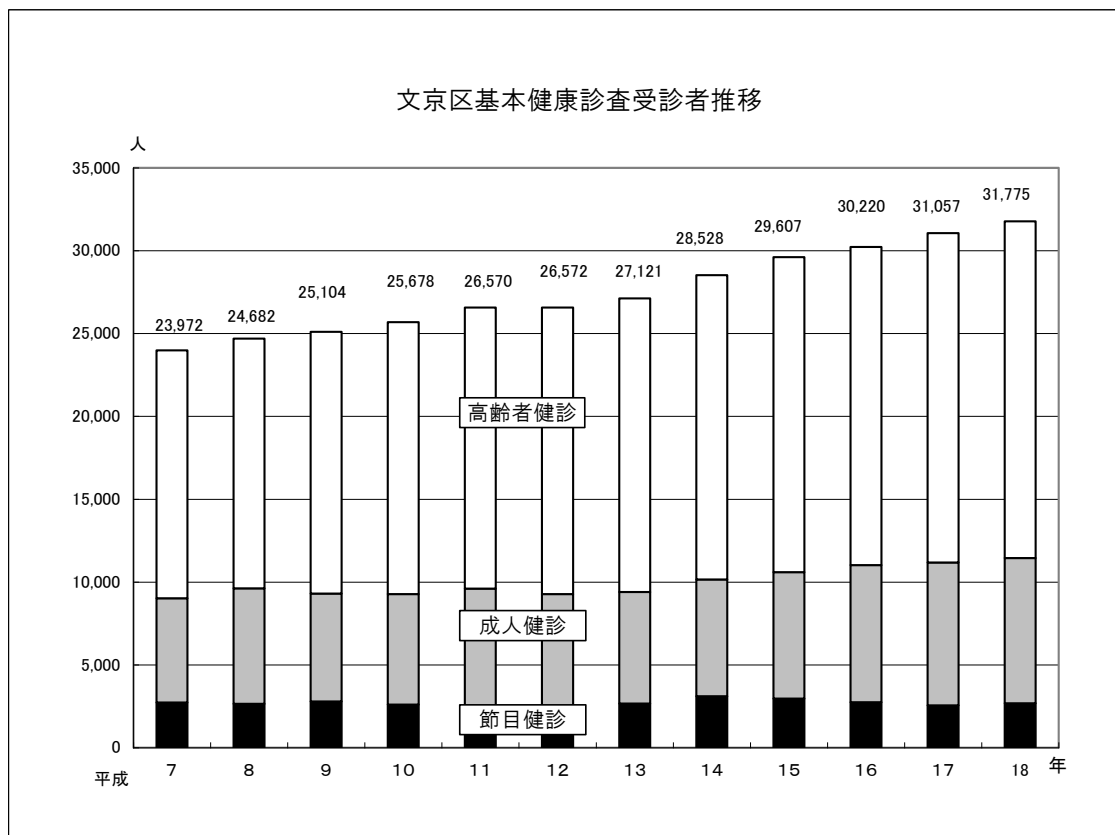
(図) 年齢調整死亡率(脳血管疾患)の推移  
—平成12年～平成17年—



## II 健診の受診状況等

### 1 基本健診受診者の推移

文京区の成人基本健診は、保健サービスセンターで実施している節目健診、医師会に委託し、地元の医療機関で行っている成人健診、高齢者健診があります。基本健診種類別受診者の推移をあらわしたグラフは下のグラフのとおりです。



保健衛生事業概要

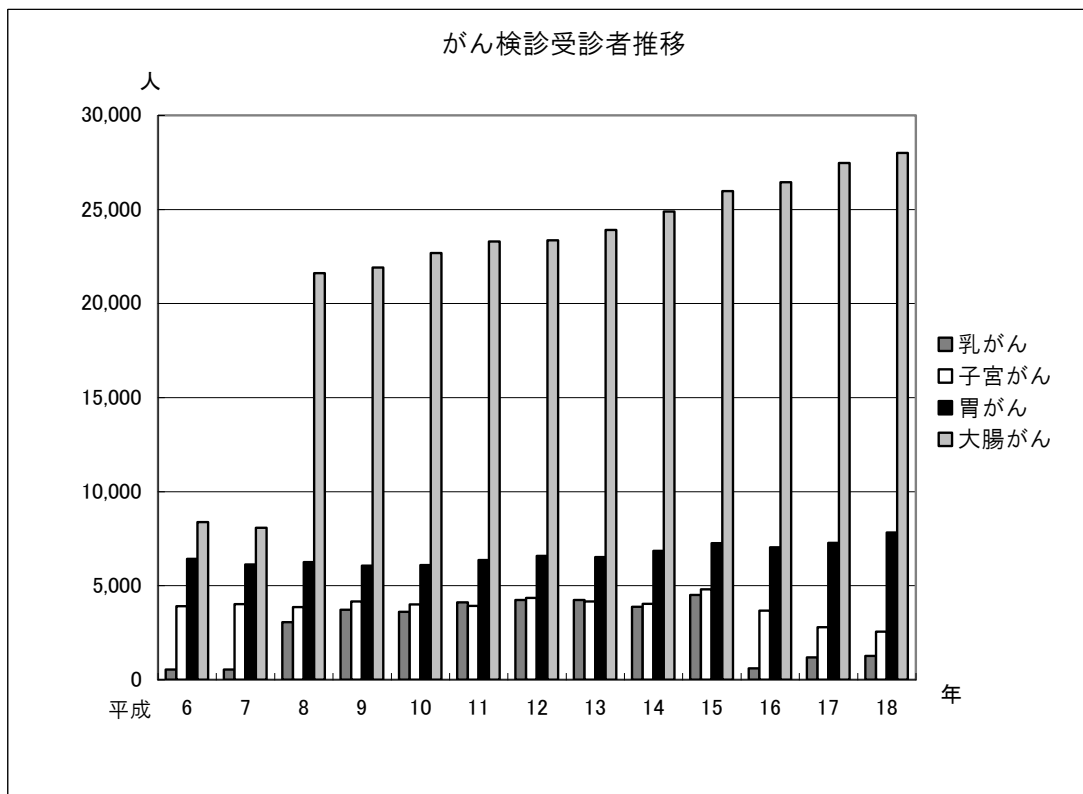
## 2 がん検診受診者の推移

文京区のがん検診は、胃がん、大腸がん、乳がん、子宮がん、また、節目健診時に肺がん検診を実施しています。

肺がん検診を除いたがん検診受診者数の推移をあらわしたものが、下のグラフです。

乳がん検診について平成16年度から、また子宮がん検診については平成17年度から、国の指針に基づいて対象年齢および受診間隔等を見直しました。

乳がん検診にはマンモグラフィを導入し、視触診との併用による検診を実施しています。



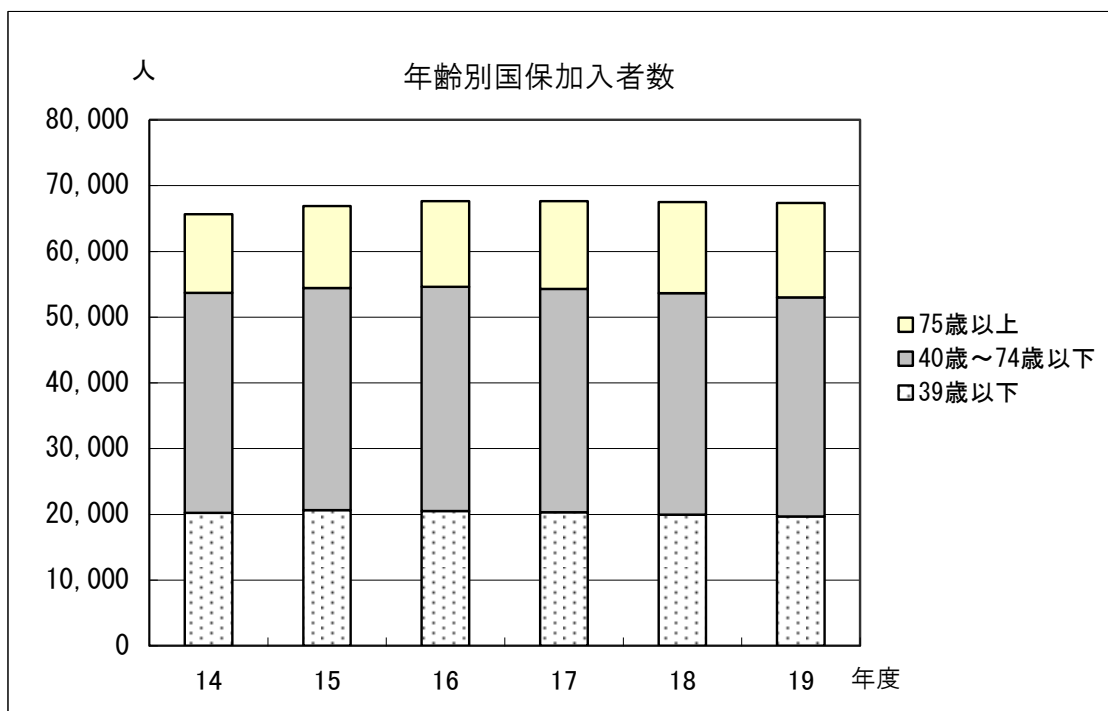
保健衛生事業概要



### 3 国民健康保険加入者の推移

平成20年から開始される医療制度改革に伴い、医療保険者は40歳以上75歳未満の被保険者を対象に、新たに特定健診・特定保健指導を実施することが義務付けられました。区では、40歳以上75歳未満の文京区国民健康保険加入者を対象に実施することになります。

文京区国民健康保険加入者数は下のグラフのとおりで、ここ数年は67,000人前後で推移しています。平成19年4月1日現在の加入者数は67,344人で、そのうち40歳以上75歳未満の特定健診・特定保健指導の対象者数は約半数の33,332人となっています。



14～16年度 8月1日現在

17～19年度 4月1日現在

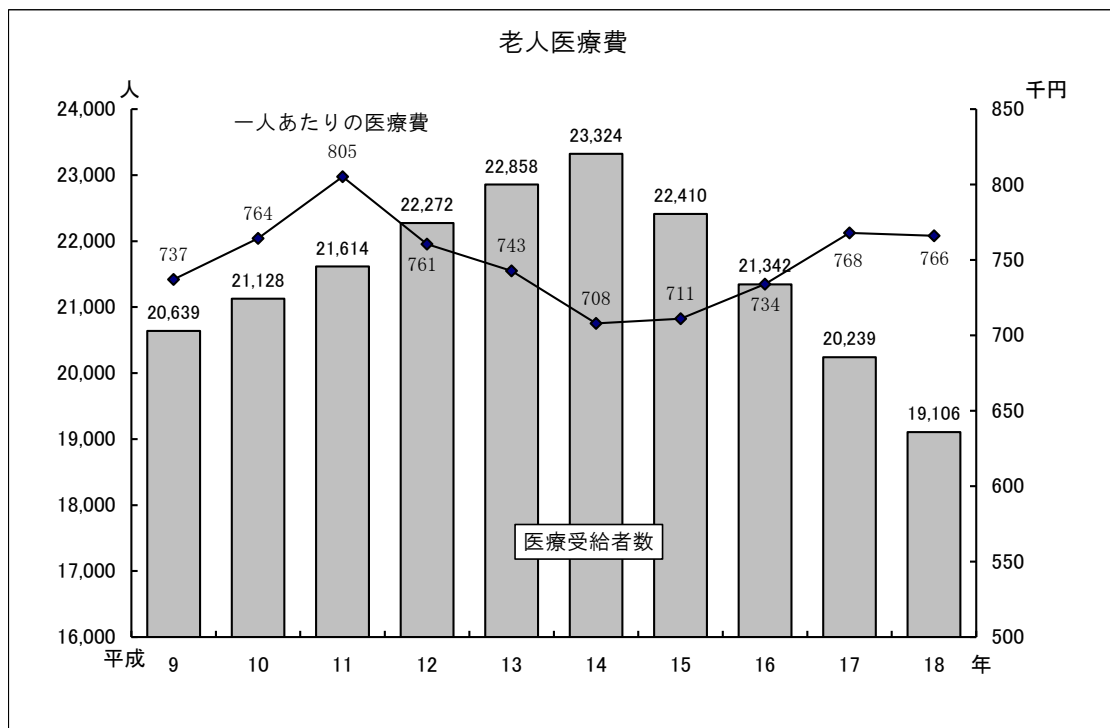
ぶんきょうの国保

### Ⅲ 老人医療、介護保険の状況

#### 1 老人医療の推移

平成9年度から18年度までの一人あたりの医療費と医療受給者数の推移は下のグラフのとおりです。

平成14年10月法改正で受給者資格の年齢が70歳から75歳に引き上げられたことにより、医療受給者数は平成15年度から、医療費総額は平成13年度以降減少傾向で、平成18年度の老人医療受給者数19,106名、75歳以上の一人当たり医療費は766千円で、医療給付総額は約146億円となっている。

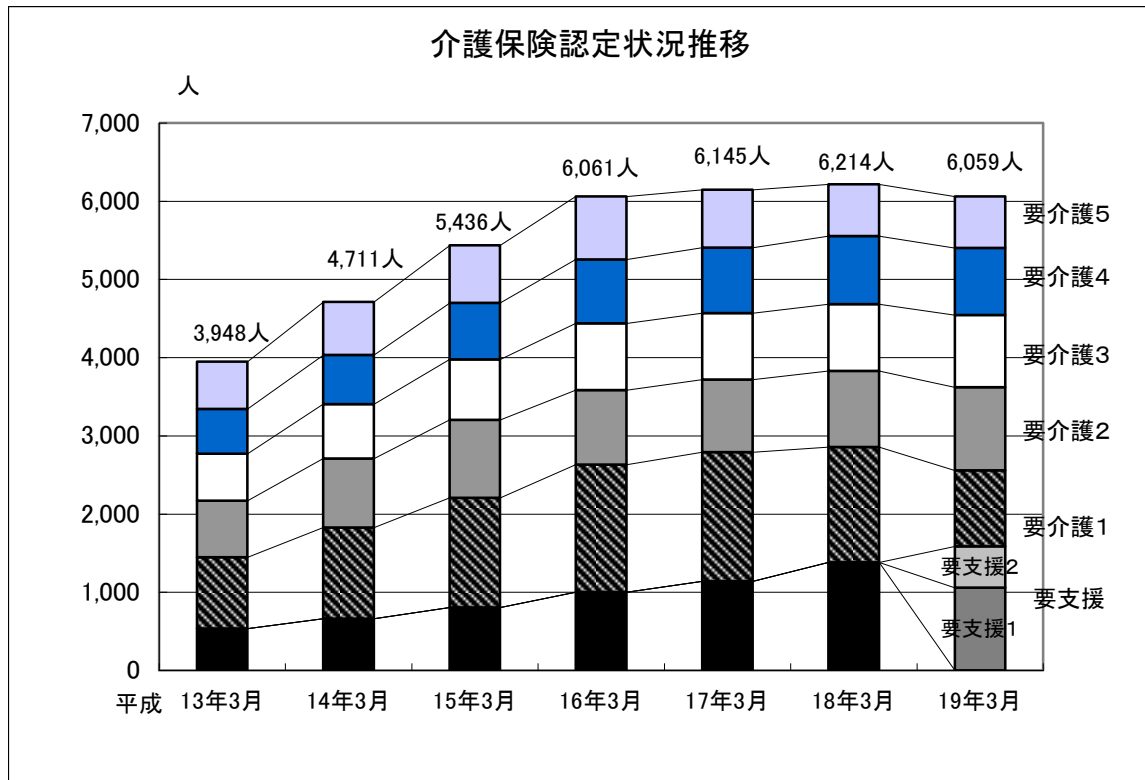


ぶんきょうの社会福祉

2 介護保険の状況

文京区民の介護保険の※要介護・要支援認定状況は、下のグラフのとおりです。

平成12年4月の制度開始から要支援・要介護の対象者数は着実に増加してきましたが、平成15年度から17年度までの認定者数は微増、18年度から19年度は微減していますがほぼ横ばい状態となっています。



文京の介護保険

※**要介護者、要支援者**：介護保険からのサービスが受けられる状態にある人をいいます。要介護者とは、身体上又は精神上の障害があることにより、入浴、排泄、食事といった日常生活の動作に、6月間にわたって継続的に常時の介護が必要と見込まれる状態にある人をいい、要支援者とは、要介護の状態となるおそれがある人をいいます。なお、平成18年4月より要支援は要支援1と要支援2に分けて区分されるようになりました。

## IV 区民の健康意識・前回との比較

計画の中間見直し、後期計画の策定にあたり、健康に関する意識調査を実施し、平成19年3月に報告書として公表しました。(以下、「今回調査」)

この結果の一部について、現在の計画策定に際し行った区民健康意識・行動調査：平成12年3月報告(以下、「前回調査」と比較しました。なお、「歯の健康」については、前回調査では行われなかったため、前回の計画の策定時に使用した、平成13年度「文京区政に関する世論調査」の結果と比較しました。

### 1 調査の概要

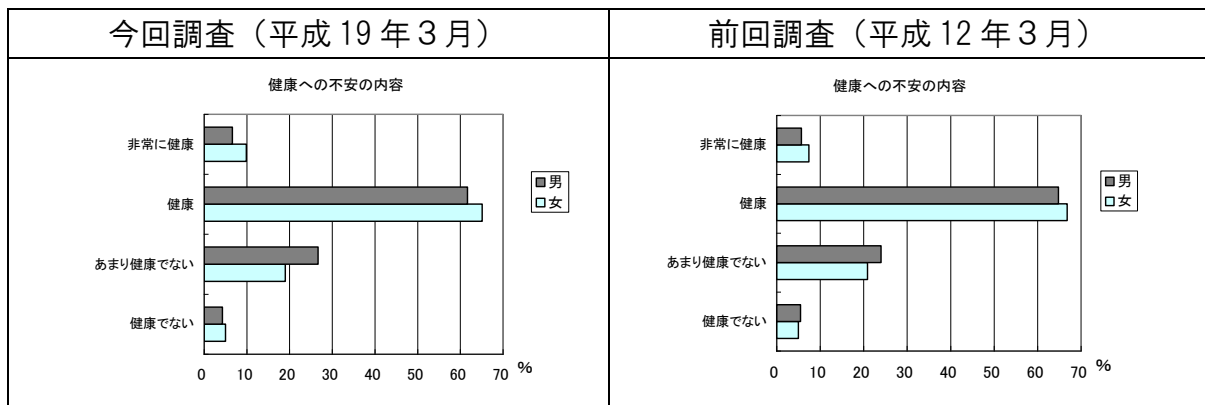
今回調査	前回調査
①対象者：30～69歳(3,000人) 男：1,469人 女：1,531人	①対象者：30～69歳(2,900人) 男：1,391人、女：1,509人 (※性、年齢別に3%を抽出)
②回収者数：1,274人(率：42.5%) 男：517(35.2%)、女：747(48.8%)	②回収者数：1,105人(率：38.1%) 男：479(34.4%)、女：626(41.5%)
③方法：郵送配布・回収	③方法：郵送配布・回収

### 2 結果の概要

#### (1) 健康感

##### ア 自分が健康だと感じている人

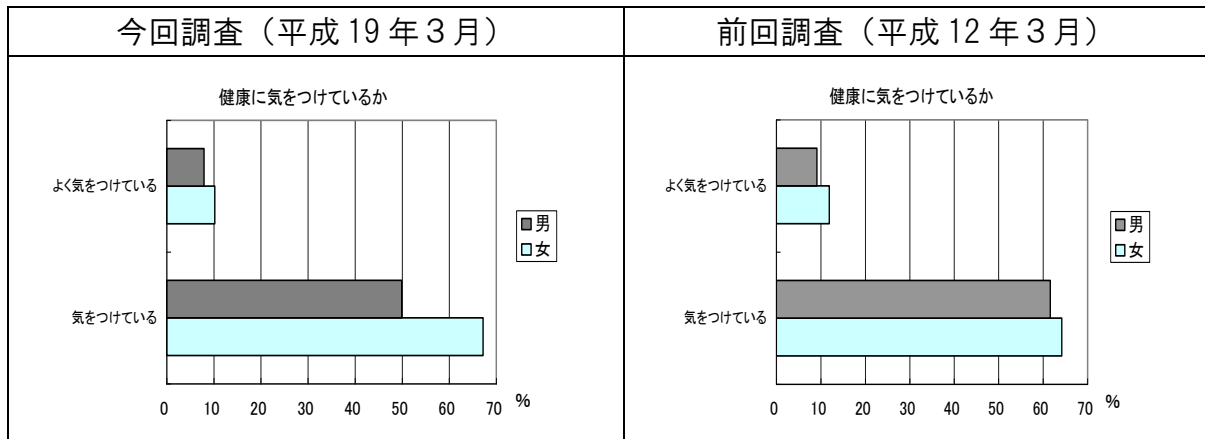
今回調査で、「健康と感じている人」は、「非常に健康」「健康である」を合わせて、男性68.3%、女性75.0%ですが、前回調査では、男性70.5%、女性74.2%で、いずれの調査でも「健康と感じている人」は女性が多く、男性ではやや減少していますが、女性ではやや増加しています。



##### イ 健康に気をつけている人

今回調査で、「健康に気をつけている人」は、「よく気をつけている」「気をつけている」を合わせて、男性57.8%、女性77.4%ですが、前回調査で

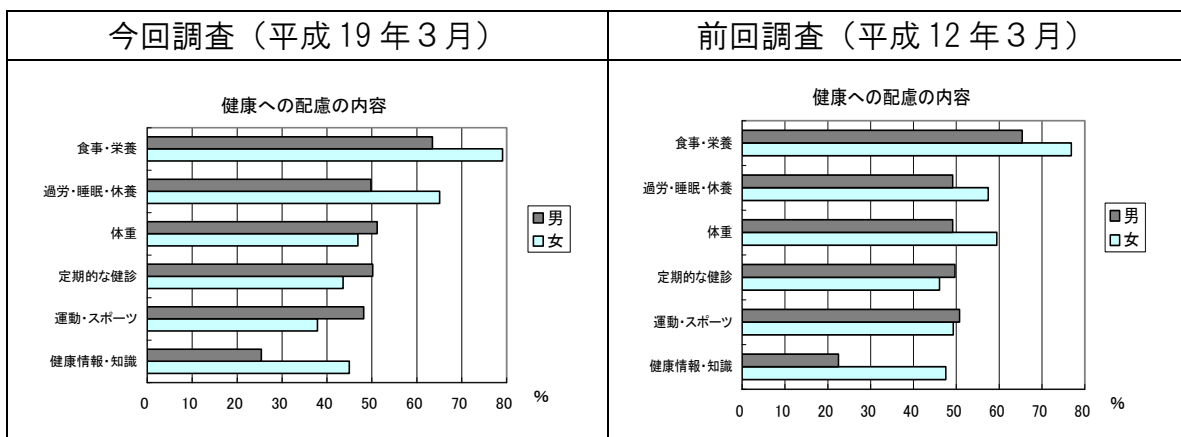
は、男性 70.7%、女性 76.1%で、いずれの調査でも「健康に気をつけている人」は女性で多く、女性ではやや増加していますが、男性では大きく減少しています。



ウ 気をつけている内容（上位5位）

「健康に気をつけている人」について「内容」を、上位5位までを見ると、今回調査では、男性で①食事・栄養に気を配る、②体重に注意する、③定期的に健康診断を受ける、④過労に注意し、睡眠・休養を十分とる、⑤運動やスポーツをする の順となっていますが、女性では①食事・栄養に気を配る、②過労に注意し、睡眠・休養を十分とる、③体重に注意する、④健康の情報・知識を増やす、⑤定期的に健康診断を受ける の順で、男女で気をつける内容が少し異なっています。

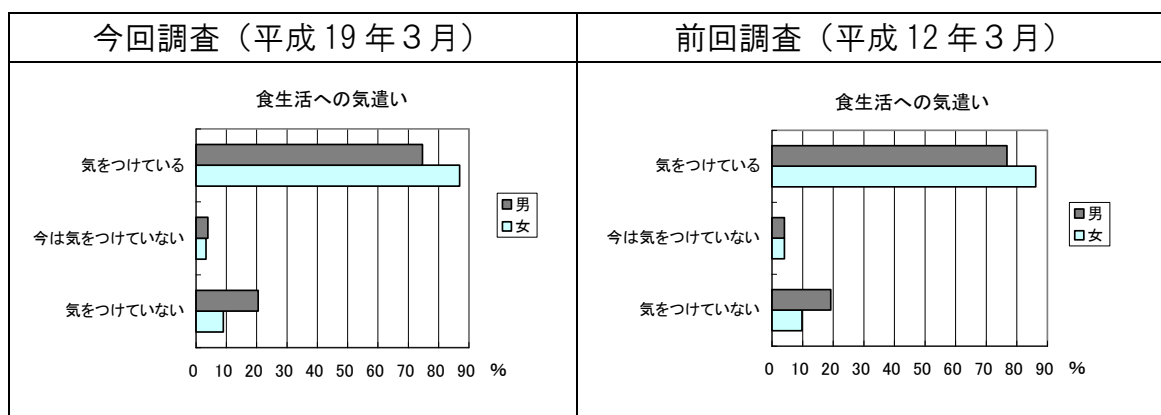
前回調査では、男性で①食事・栄養に気を配る、②運動やスポーツをする、③定期的に健康診断を受ける、④体重に注意する、④過労に注意し、睡眠・休養を十分とる の順となっており、今回調査の方が健康のために「運動やスポーツをする」人が減少しています。女性では、①食事・栄養に気を配る、②体重に注意する、③過労に注意し、睡眠・休養を十分とる、④運動やスポーツをする、⑤健康情報・知識を増やす の順で、今回調査の方が「体重に注意する」が減少しています。



## (2) 栄養・食生活

## ア 食生活に気をつけている人

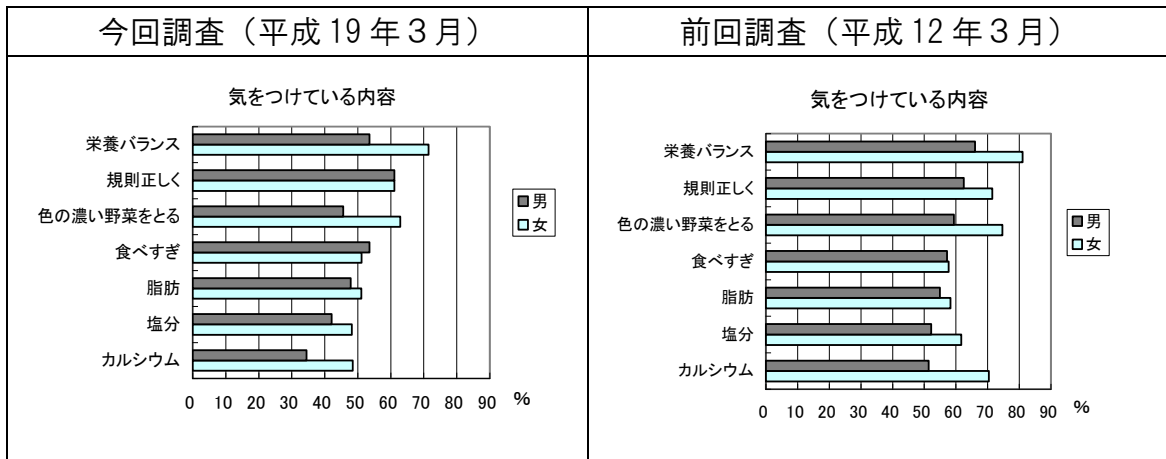
今回調査で、「食生活に気をつけている人」は男性 74.7%、女性 87.0%ですが、前回調査では男性 76.8%、女性 86.2%でいずれの調査でも食生活に気をつけている人は女性に多く、男性ではやや減少しています。



## イ 気をつけている内容（上位5位）

「気をつけている人」の「内容」を上位5位までを見ると、今回調査では、男性で①1日3回規則正しく食べる、②栄養のバランスを考えていろいろな食品をとる、③食べ過ぎない、④脂肪やコレステロールを含む食品をとり過ぎない、⑤色の濃い野菜や生野菜を食べるの順となっていますが、女性では①栄養のバランスを考えていろいろな食品をとる、②色の濃い野菜や生野菜を食べる、③1日3回規則正しく食べる、④食べ過ぎない、⑤脂肪やコレステロールを含む食品をとり過ぎないの順で男女で気をつける内容が少し異なっています。

前回調査では、男性で①栄養のバランスを考えていろいろな食品をとる、②1日3回規則正しく食べる、③色の濃い野菜や生野菜を食べる、④食べ過ぎない、⑤脂肪やコレステロールを含む食品をとり過ぎないの順となっており、今回調査の方が「栄養のバランスを考えていろいろな食品をとる」や「色の濃い野菜や生野菜を食べる」が減少しています。女性では、①栄養のバランスを考えていろいろな食品をとる、②色の濃い野菜や生野菜を食べる、③1日3回規則正しく食べる、④カルシウムを多く含む食品を食べる、⑤塩分を控えるの順となっており、今回調査の方が「カルシウムを多く」や「塩分を控える」が減少しています。



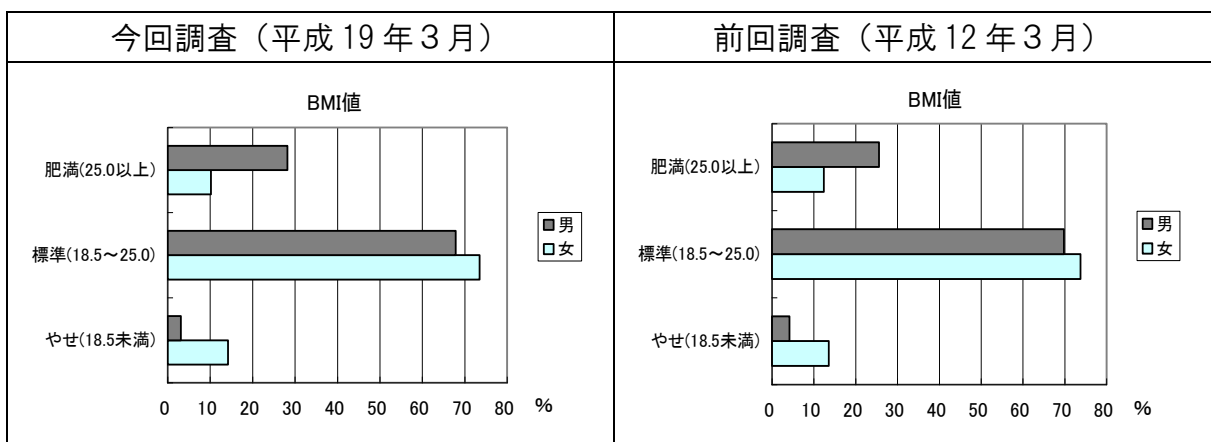
(3) 体重管理について

ア 肥満者、やせている人の割合

自己申告の身長、体重から肥満の指標である※BMIを算出し、肥満者、やせている人の割合を求めました。

BMIが25以上で「肥満」と判定される人は、今回調査では、男性28.2%、女性10.2%ですが、前回調査では、男性25.6%、女性12.4%で、いずれの調査でも「肥満者」は男性に多く、女性では減少していますが、男性では増加しています。

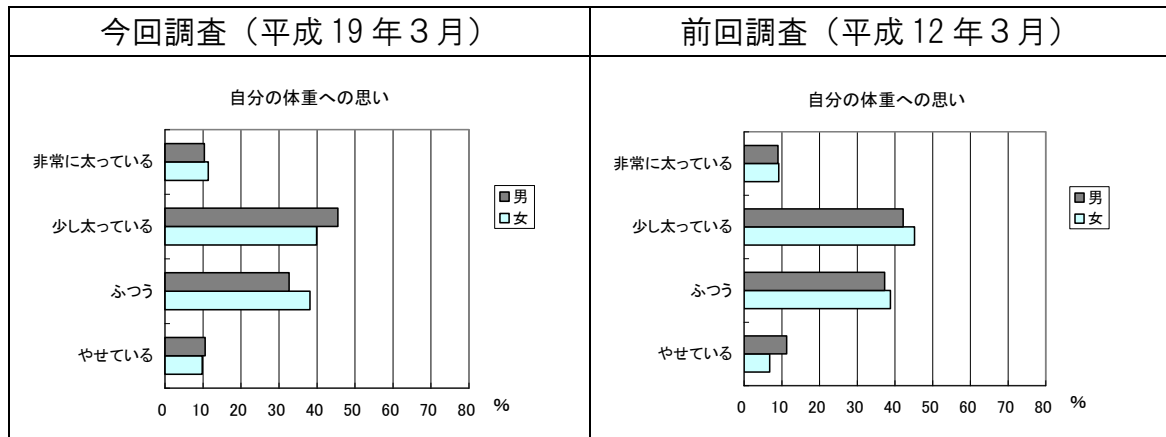
また、BMIが18.5未満で「やせ」と判定される人は、今回調査では、男性3.1%、女性14.2%ですが、前回調査では、男性4.2%、女性13.6%で、いずれの調査でも「やせている人」は、女性で多く、男性では減少していますが、女性では増加しています。



※BMI(ボディ・マス・インデックス) = 体重(kg) ÷ 身長(m)<sup>2</sup>

イ 自分の体重についての思い

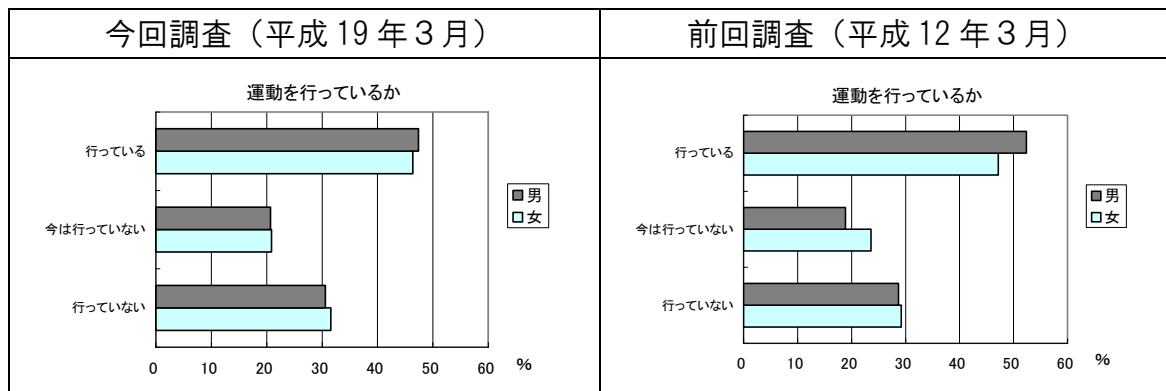
現在の自分の体重についてどう思うか聞いたところ、今回調査では、「非常に太っている」「少し太っている」とした人が、男性55.9%、女性51.3%ですが、前回調査では、男性51.2%、女性54.5%で、前回調査では「太り気味とと思っている」人は、女性が多かったのに対し、今回調査では男性に多くなっており、前回と今回の比較では女性では減少していますが、男性では増加しています。



(4) 運動について

ア 運動を行っていない人

今回調査では、「運動を行っていない人」は「行っていない」、「過去に行っていたが今は行っていない」を合わせ、男性51.3%、女性53.9%ですが、前回調査では、男性47.6%、女性52.8%で、いずれの調査でも「運動を行っていない人」は女性に多く、男女とも増加しています。

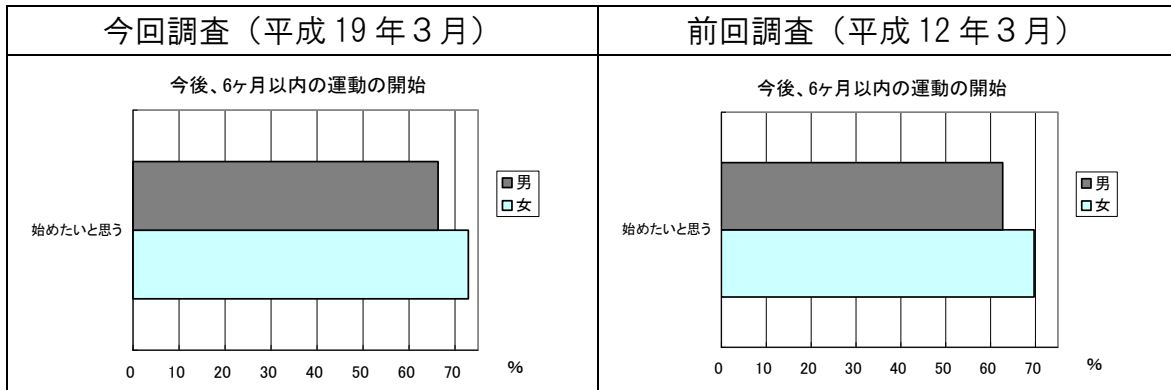


イ 運動を始めたい意向

「運動を行っていない」、「過去に行っていたが今は行っていない」人に、今後、半年以内に「運動を始めたい」と思っているか聞いたところ、「始めたいと思う」人は、今回調査（回答なしを除く）では、男性66.3%、女性72.9%ですが、前回調査では、男性62.7%、女性69.7%で、いずれの調査



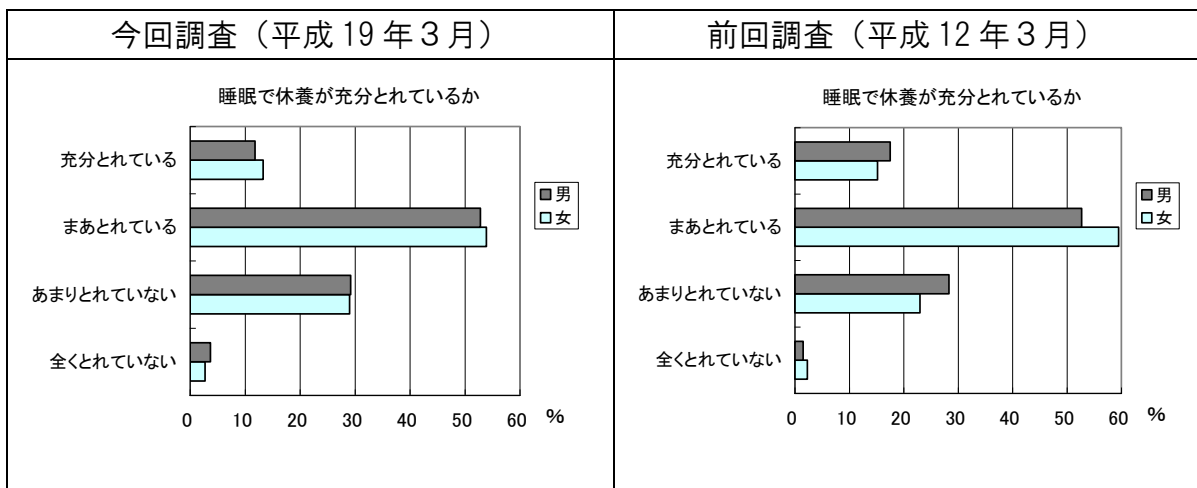
でも「運動を始めたい意向」は女性に多く、男女とも増加しています。



(5) こころの健康づくり

ア 睡眠による休養

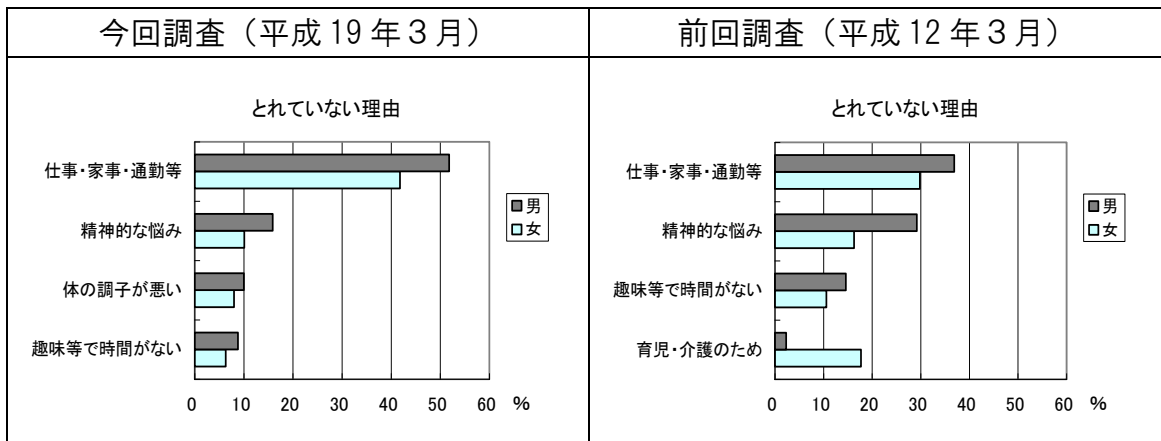
睡眠で休養が十分にとれているか聞いたところ、今回調査で、「全くとれていない」、「あまりとれていない」が、男性32.9%、女性31.7%ですが、前回調査では、男性29.8%、女性25.3%で、いずれの調査でも「睡眠で休養がとれない」人は、女性に多く、男女とも増加しています。



イ 休養がとれていない理由（上位3位）

今回調査と前回調査で回答枝が少し異なりますが、「休養が全くとれていない」「あまりとれていない」人について、その「理由」を上位3位までを見ると、今回調査では、男性では、①仕事、家事、長距離通勤で睡眠時間が短いから、②精神的な悩みから、③体の調子が悪いから の順となっており、女性でも、同様の順となっています。

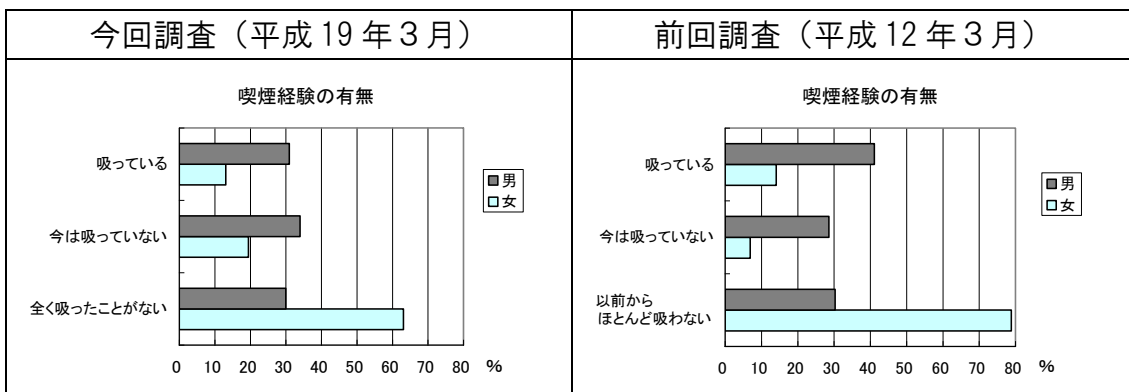
前回調査では、男性では、1位、2位は今回調査と同様ですが、3位は趣味等で時間がないからとなっており、女性では育児・介護のためが2位となっています。



(6) たばこ

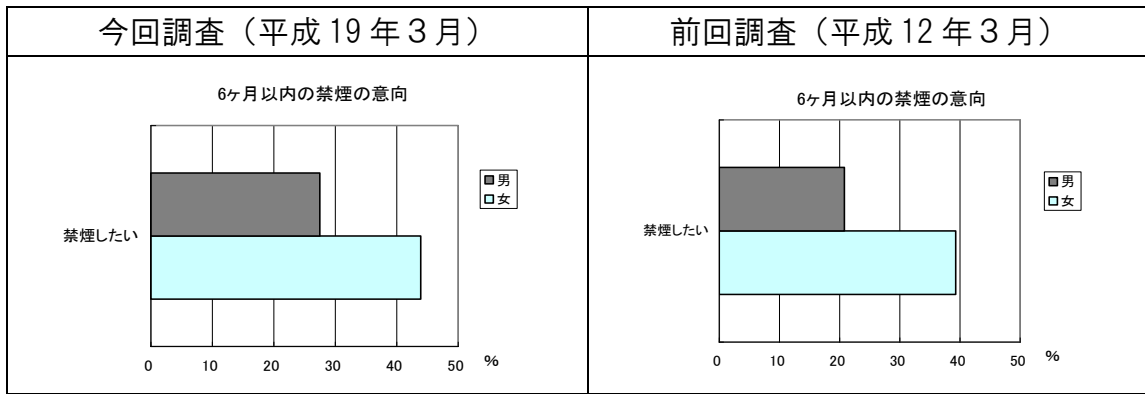
ア 喫煙経験

今回調査と前回調査で、質問の内容が少し異なりますが、今回調査では、「毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせ、「吸っている」として、男性30.9%、女性13.1%ですが、前回調査では、「毎日吸う」は、男性41.4%、女性14.1%で、いずれの調査でも「喫煙経験」は男性に多く、男女とも減少しています。



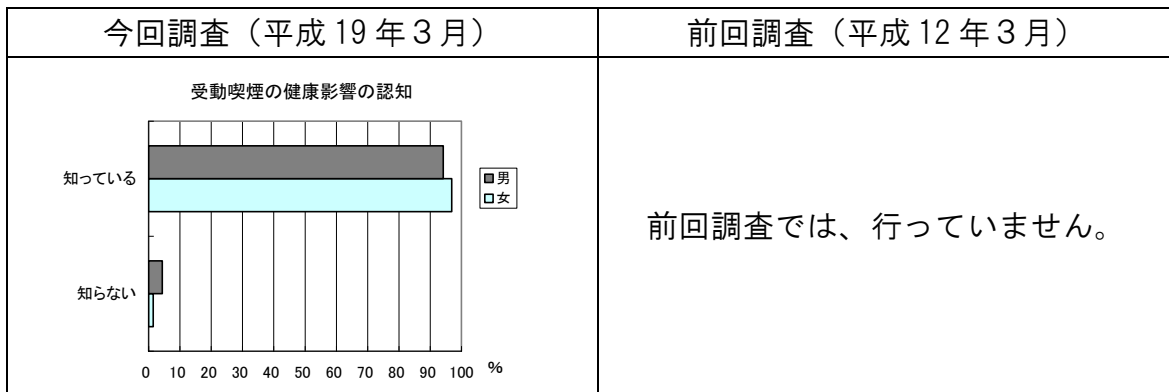
イ 今後、6か月以内の禁煙の意向

たばこを「毎日吸う」、「時々吸っている」とした人に、今後、6か月以内に「禁煙したい」と思っているか聞いたところ、「禁煙したいと思う」人は、今回調査では、男性27.5%、女性43.9%ですが、前回調査では、男性20.8%、女性39.3%で、いずれの調査でも「禁煙したい」人は女性に多く、男女とも増加しています。



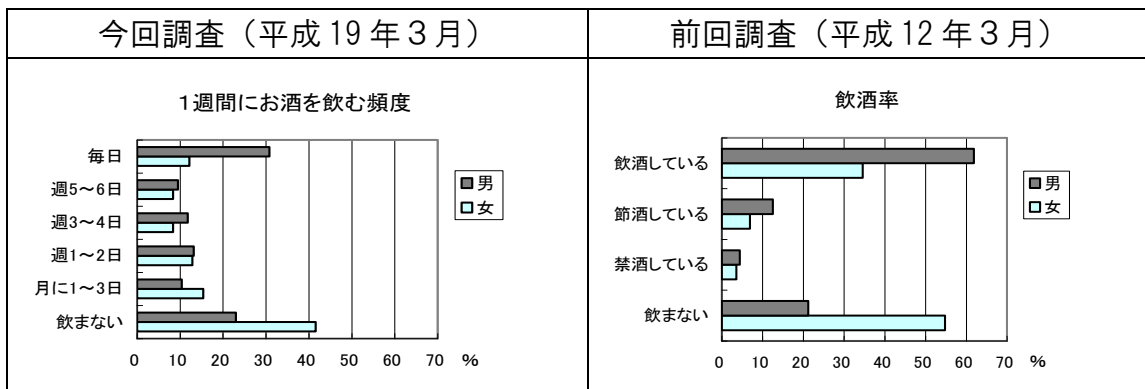
ウ 受動喫煙の健康影響の認知

前回調査では行っていませんが、今回、受動喫煙（他人が吸うたばこの煙を吸い込む）の健康に与える影響について知っているか聞いたところ、「知っている」人が、男性 94.2%、女性 96.9%で、多くの方が受動喫煙の健康影響について知っていました。



(7) アルコール

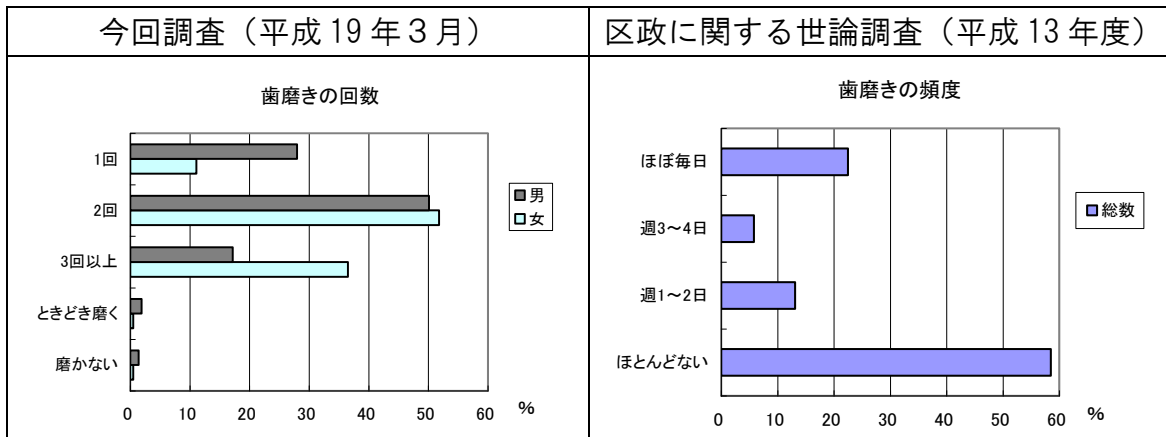
今回調査と前回調査で、質問の内容が少し異なりますが、今回調査では、「月に1～3回」「ほとんど飲まない・飲めない」、を除いた人を、現在の飲酒者として「飲酒率」は、男性 65.3%、女性 41.9%ですが、前回調査では、「節酒を含む飲酒をしている」人は、男性 74.4%、女性 41.5%で、いずれの調査でも「飲酒している」人は男性に多く、男性は減少していますが、女性ではやや増加しています。



(8) 歯の健康

ア 歯磨きの回数、頻度

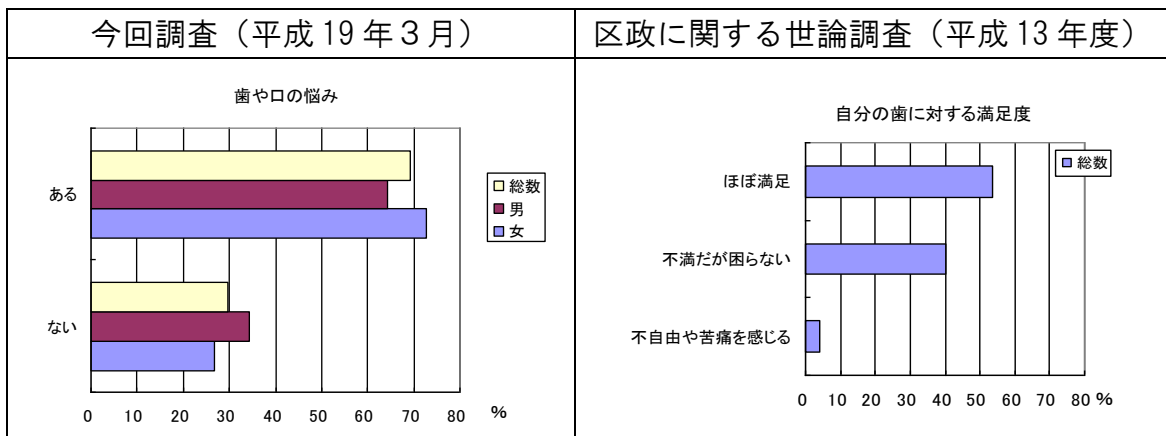
今回調査と前回調査（区政に関する世論調査）で、質問内容が異なりますが、今回調査では、1日1回以上歯を磨く人を除く、「ときどき磨く」「磨かない」を合わせた人は、総数で1.6%（男性3.3%、女性0.4%）です。前回調査では、10分以上の歯磨きをする人は、「ほとんどない」が総数で58.5%となっています。



イ 自分の歯や口の悩み、悩みの内容、歯に対する満足度

今回調査と前回調査（区政に関する世論調査）で、質問内容が異なりますが、今回調査では、「歯や口の中に悩みがある」とした人は、総数で69.2%（男性64.2%、女性72.6%）で、「悩みの内容」では、①ものが挟まる（総数：49.5%）、②むし歯や歯肉炎が心配（総数：30.0%）、③口臭がある（総数：25.7%）の順となっています。

前回の調査では、「自分の歯に対する満足度」では、「不満だがこまらない」（総数：40.3%）、「不自由や苦痛を感じる」（総数：4.1%）という結果です。



ウ 歯科健康診査について

前回調査では行っていませんが、今回、歯科健康診査の受診の有無と受けたことがない場合の受診意向について聞きました。

「受けていない人」は、総数で 55.8%（男性 60.5%、女性 52.7%）で、「今後、受けようと思う人」が 37.4%（男性 33.9%、女性 40.1%）、「受けようと努力するがなかなか受けられない」が 39.4%（男性 35.5%、女性 42.4%）となっています。

今回調査（平成 19 年 3 月）	区政に関する世論調査（平成 13 年度）																								
<p style="text-align: center;">歯科健康診査の受診の有無</p> <table border="1"> <caption>歯科健康診査の受診の有無</caption> <thead> <tr> <th>性別</th> <th>受けた (%)</th> <th>受けていない (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総数</td> <td>43.2</td> <td>56.8</td> </tr> <tr> <td>男</td> <td>38.5</td> <td>61.5</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>47.9</td> <td>52.1</td> </tr> </tbody> </table>	性別	受けた (%)	受けていない (%)	総数	43.2	56.8	男	38.5	61.5	女	47.9	52.1	<p style="text-align: center;">前回調査では、行っていません</p>												
性別	受けた (%)	受けていない (%)																							
総数	43.2	56.8																							
男	38.5	61.5																							
女	47.9	52.1																							
<p style="text-align: center;">受けていない場合の意向</p> <table border="1"> <caption>受けていない場合の意向</caption> <thead> <tr> <th>意向</th> <th>性別</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">今後受けようと思う</td> <td>総数</td> <td>37.4</td> </tr> <tr> <td>男</td> <td>33.9</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>40.1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">思うが受けられない</td> <td>総数</td> <td>39.4</td> </tr> <tr> <td>男</td> <td>35.5</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>42.4</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">受けるつもりはない</td> <td>総数</td> <td>23.2</td> </tr> <tr> <td>男</td> <td>30.6</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>17.5</td> </tr> </tbody> </table>	意向	性別	割合 (%)	今後受けようと思う	総数	37.4	男	33.9	女	40.1	思うが受けられない	総数	39.4	男	35.5	女	42.4	受けるつもりはない	総数	23.2	男	30.6	女	17.5	<p style="text-align: center;">前回調査では、行っていません</p>
意向	性別	割合 (%)																							
今後受けようと思う	総数	37.4																							
	男	33.9																							
	女	40.1																							
思うが受けられない	総数	39.4																							
	男	35.5																							
	女	42.4																							
受けるつもりはない	総数	23.2																							
	男	30.6																							
	女	17.5																							